

真備緊急治水対策プロジェクト 事業進捗等説明

～令和2年度の予定と大雨時の対応～

国土交通省 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所
岡山県 備中県民局
倉敷市

令和2年5月



《 説明内容 》

1. プロジェクトの実施項目と行動計画
2. ハード対策
3. ソフト対策
4. 工事に関するお知らせ
5. その他

真備緊急治水対策プロジェクト

実施項目と行動計画

「真備緊急治水対策プロジェクト」の行動計画(アクションプラン)

「真備緊急治水対策プロジェクト」は、平成30年7月豪雨災害により明らかとなった様々な課題に対し、国、岡山県、倉敷市の3者が策定したものであり、具体的な行動計画に基づき、倉敷市真備地区における防災・減災の取組を、進めています

真備緊急治水対策プロジェクト

ハード対策の行動計画

取組内容	実施主体	2020年5月 年度						
		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
【洪水氾濫を未然に防ぐ対策】								
<小田川>								
小田川合流点付替え事業	国							
・仮設工事								
・掘削・築堤								
・貯水池河道整正								
・締切堤撤去								
・橋梁架設								
<小田川>								
堤防強化(浸透対策)	国							
堤防強化(堤防拡幅)	国・市							
<末政川・高馬川・真谷川>								
堤防強化	県							
堤防嵩上げ								
<小田川、末政川・高馬川・真谷川、大武谷川、背谷川、内山谷川>								
河道掘削、樹木伐採による適切な河川の維持管理	国・県・市							継続的に実施
【避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備】								
国・倉敷市が連携・協力し、災害時の応急活動・緊急復旧を迅速に行うための防災拠点の整備	国・市							
危機管理型水位計設置	国							
	県							

新川への
通水開始

ソフト対策の行動計画

取組内容	実施主体	2020年5月 年度						
		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
【広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知】								
河川管理施設への既往浸水深の表示	国							
指定緊急避難場所を追加したハザードマップの作成	市							2019年度出水期までに作成・全戸配付
まるとまちごとハザードマップの取組の推進	市							
【避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成】								
関係機関と連携した多機関連携型タイムラインの作成	国・県・市							2019年度出水期までに作成・運用開始
タイムラインに基づいた首長等も参加した実践的な訓練	国・県・市							継続的に実施
【防災教育や防災知識の普及】								
ハザードマップ等の活用など地域に即した防災に関する出前講座の実施	国・県・市							継続的に実施
「マイ・ハザードマップ」や「マイ・タイムライン」、地域住民等で作成する「地区防災計画」の作成など住民の早期避難を促す避難体制づくりを推進	市							継続的に実施
教員を対象とした講習会の実施、小学生等を対象とした防災教育の実施	国・県・市							継続的に実施
危機管理型水位計を活用した関係機関等への水位情報のメール配信や、情報入手方法を記載したカード配付	国・県・市							2018年度より危機管理型水位計を活用した水位情報の配信開始
【より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化】								
河川管理者・水防団等による合同巡視を出水期までに実施	国・県・市							継続的に実施
【排水計画(案)の作成および排水訓練の実施】								
要排水箇所への排水ポンプ車の配備や、仮設ポンプ等の導入による排水能力の向上について検討	国・市							継続的に実施

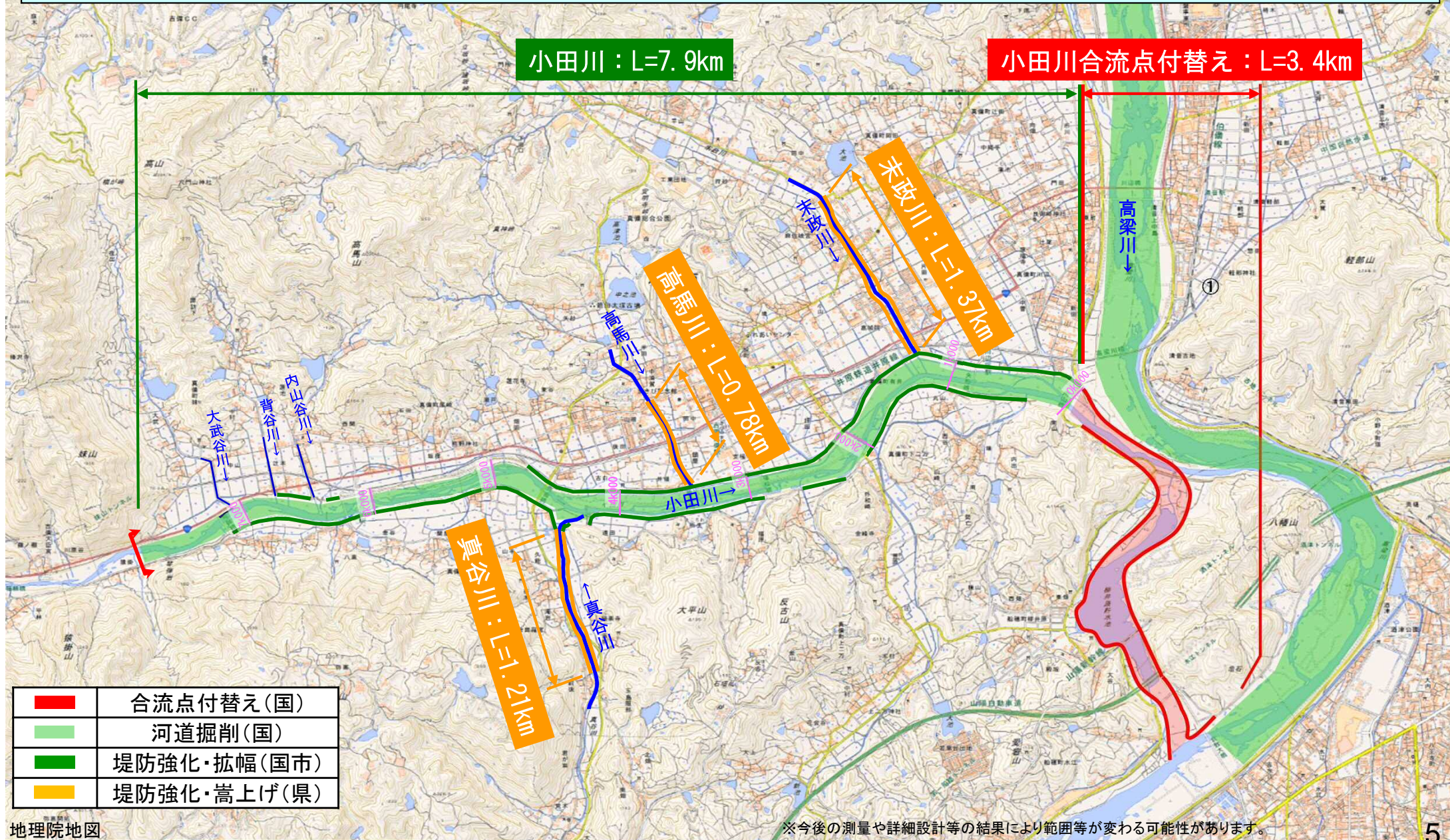
※行動計画(アクションプラン)とは、「真備緊急治水対策プロジェクト」の取組を「いつ」、「だれが」、「なにを」実施するかを定めたものです。

真備緊急治水対策プロジェクト

ハード対策

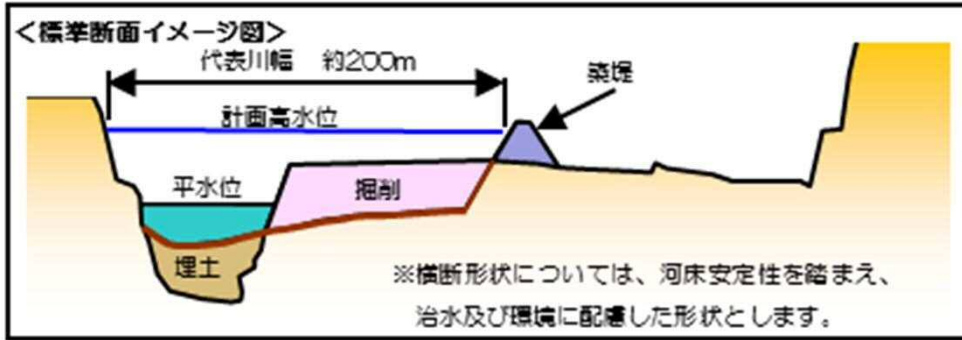
「真備緊急治水対策プロジェクト」ハード対策

■再度災害防止を図るため、小田川合流点付替え、国管理の小田川及び岡山県管理の末政川、高馬川、真谷川において、重点的な堤防整備（嵩上げ、断面拡大）と洪水時の水位を下げるための河道掘削を実施します



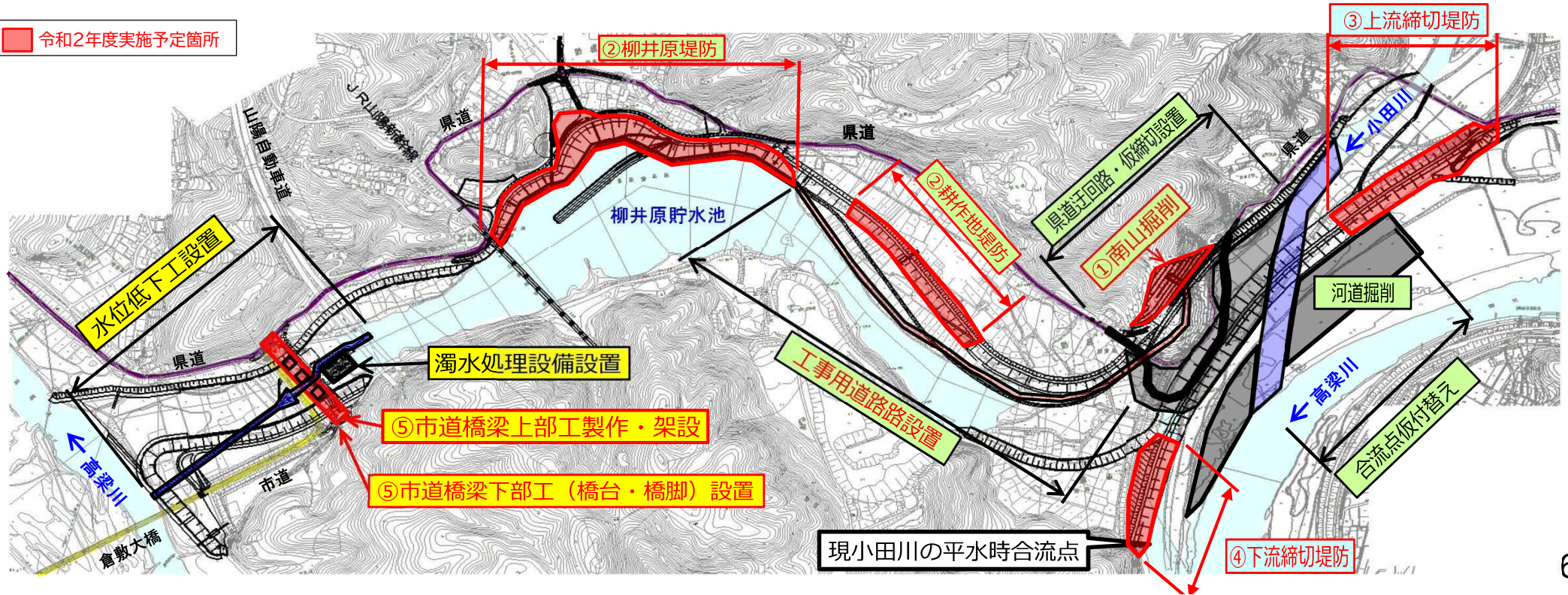
【国】小田川合流点付替え

- 小田川合流点付替え事業は、平成26年度の事業着手から15年間での完成予定でしたが、平成30年7月の豪雨を受けて、集中投資と施工方法の見直し、ICTを活用した施工を行うi-Constructionの取組を推進し、2023年度（令和5年度）の完成を目指す
- 主な工事内容は、（1）南山等の掘削とその土砂を使用した築堤、貯水池内の埋土の実施 （2）下流の締切堤上の道路を橋梁に付替え （3）上下流の締切堤を撤去、小田川を付替え



工事内容	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)
仮設工事 (迂回路、濁水処理設備)	■						
南山掘削		■	■	■	■	■	
築堤 (柳井原地区、耕作地)			■	■	■	■	
橋梁架設			■	■	■	■	
締切堤防		■	■	■	■	■	
							合流点付替え (通水) →

令和2年度実施予定箇所



①南山掘削(R1実施内容)

着手前



現在(7ヶ月経過)



令和元年11月5日に伐開に着手



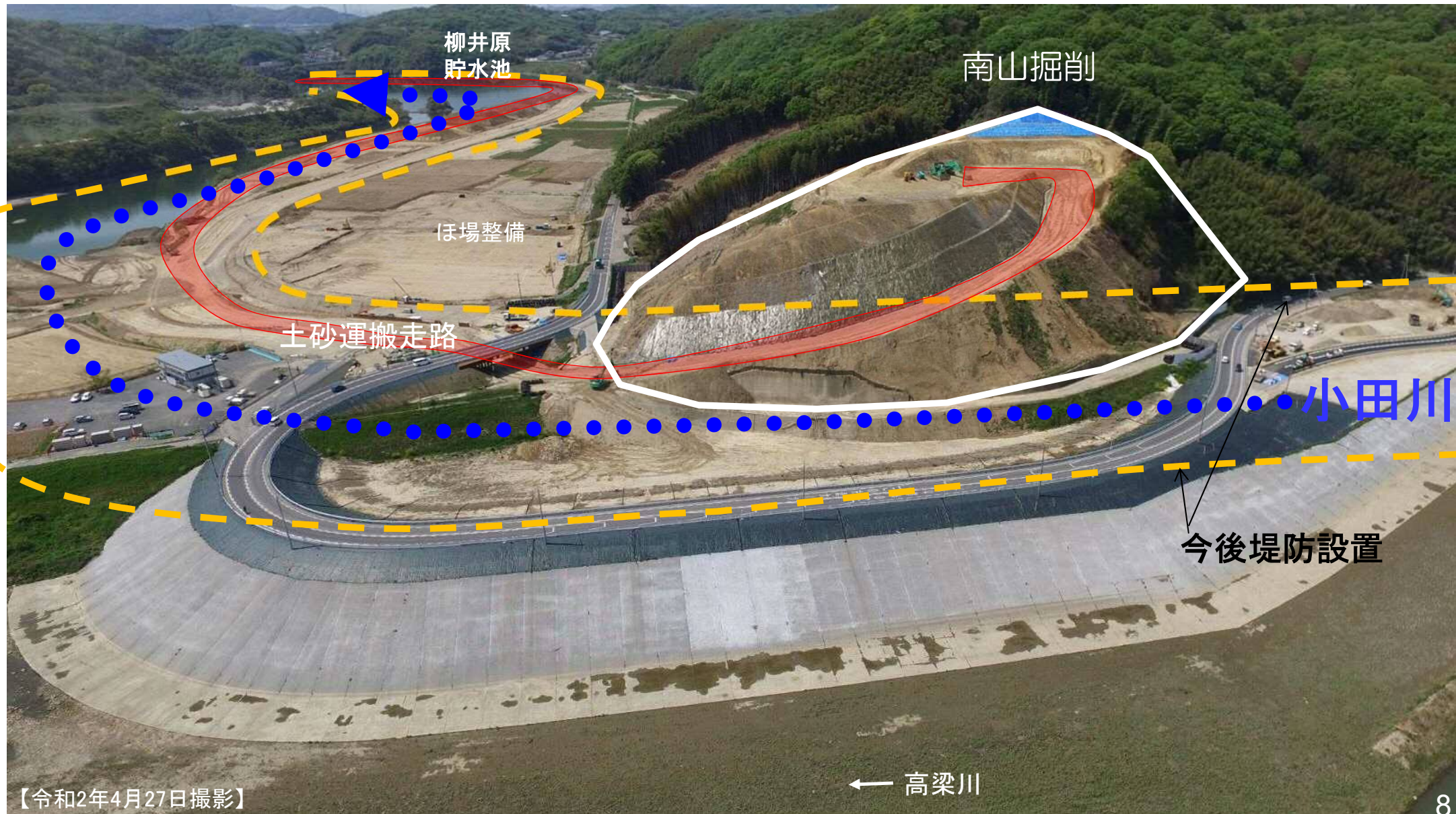
令和2年1月23日に本格的な掘削に着手



令和2年4月 南山山頂の掘削を実施中

①南山掘削(R1~R2実施内容)

- 掘削用の大型重機が南山山頂に到達し、令和2年1月23日より本格的な掘削作業に着手
- 南山掘削で発生した土砂や岩砕を貯水池周辺の堤防や貯水池内の埋土に有効活用



①南山掘削(R2実施内容)

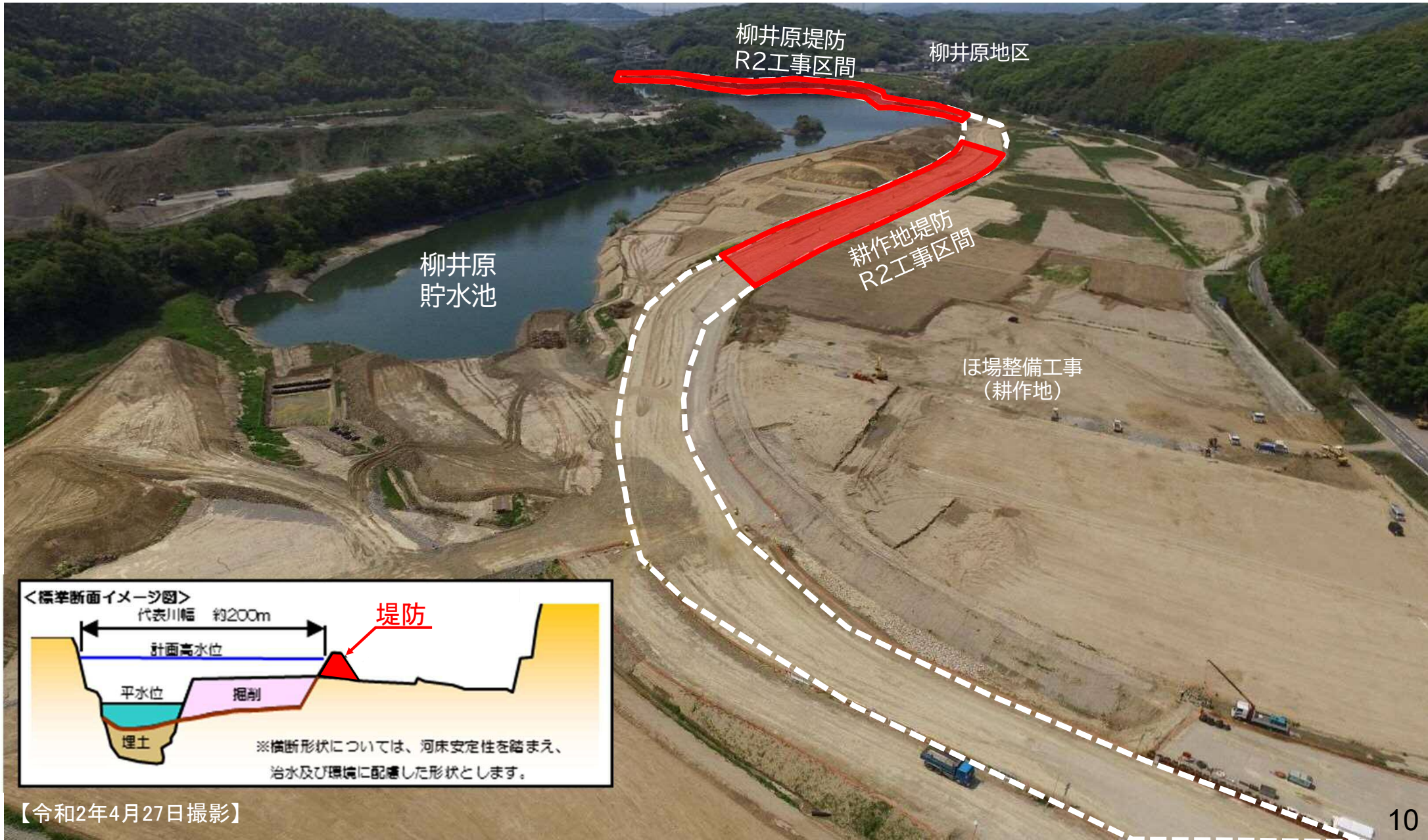
□令和2年度は南山の掘削を更に進め、山頂から約40m掘削（最終は約70m）を進める予定



【令和2年4月27日撮影】

②耕作地堤防～柳井原堤防(R2実施内容)

□南山掘削で発生した土砂を有効活用し堤防工事を実施



【令和2年4月27日撮影】

③上流締切堤防(R1実施内容)



③上流締切堤防(R1～R2実施内容)

□高梁川と小田川を分離するため、現合流点において堤防工事を実施



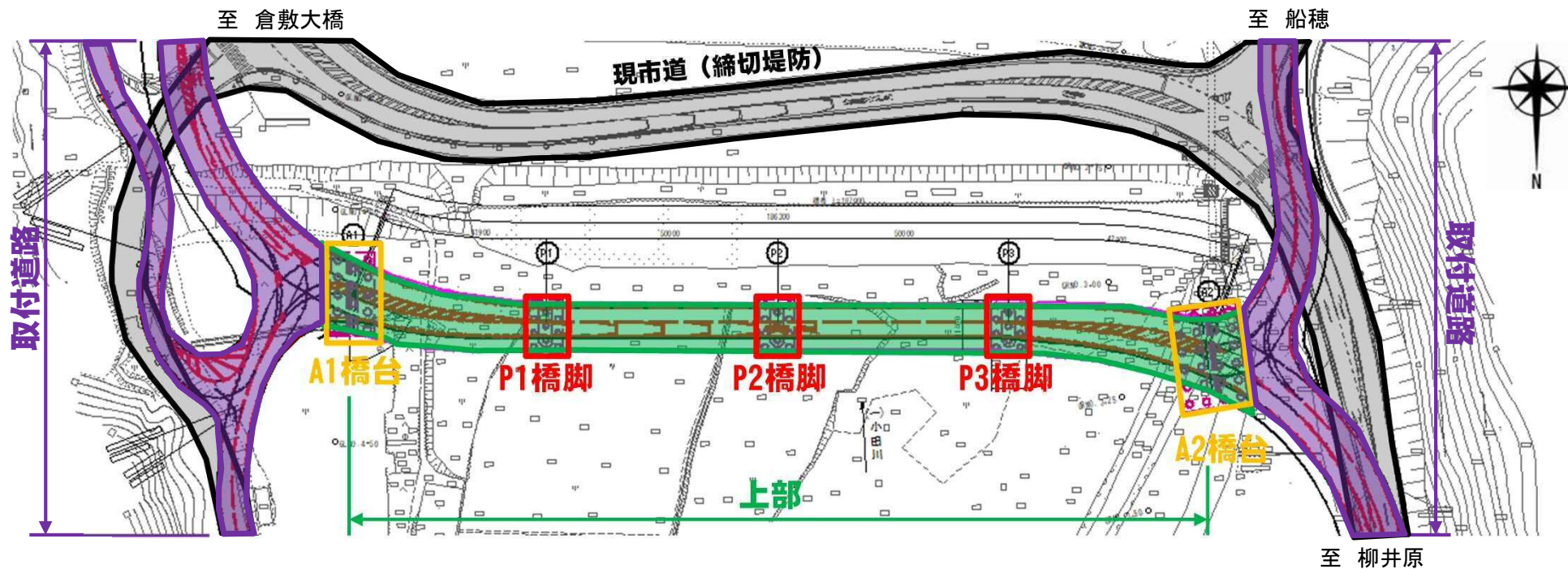
④下流締切堤防(R2実施内容)

□高梁川と小田川を分離するため、現合流点において堤防工事を実施



⑤市道橋梁工事(全体工程)

■令和4年度中の完成を目指して、令和1～2年度で橋脚、橋台を建設
令和2～3年度で橋梁上部を建設



工事内容	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)
橋脚	—	—			
橋台		—			
上部		製作	架設		
取付道路				—	
				—	—
				—	—



橋脚鉄筋組立



橋脚コンクリート打設

⑤市道橋梁下部(橋脚)工事



令和元年10月 橋脚の基礎杭工事



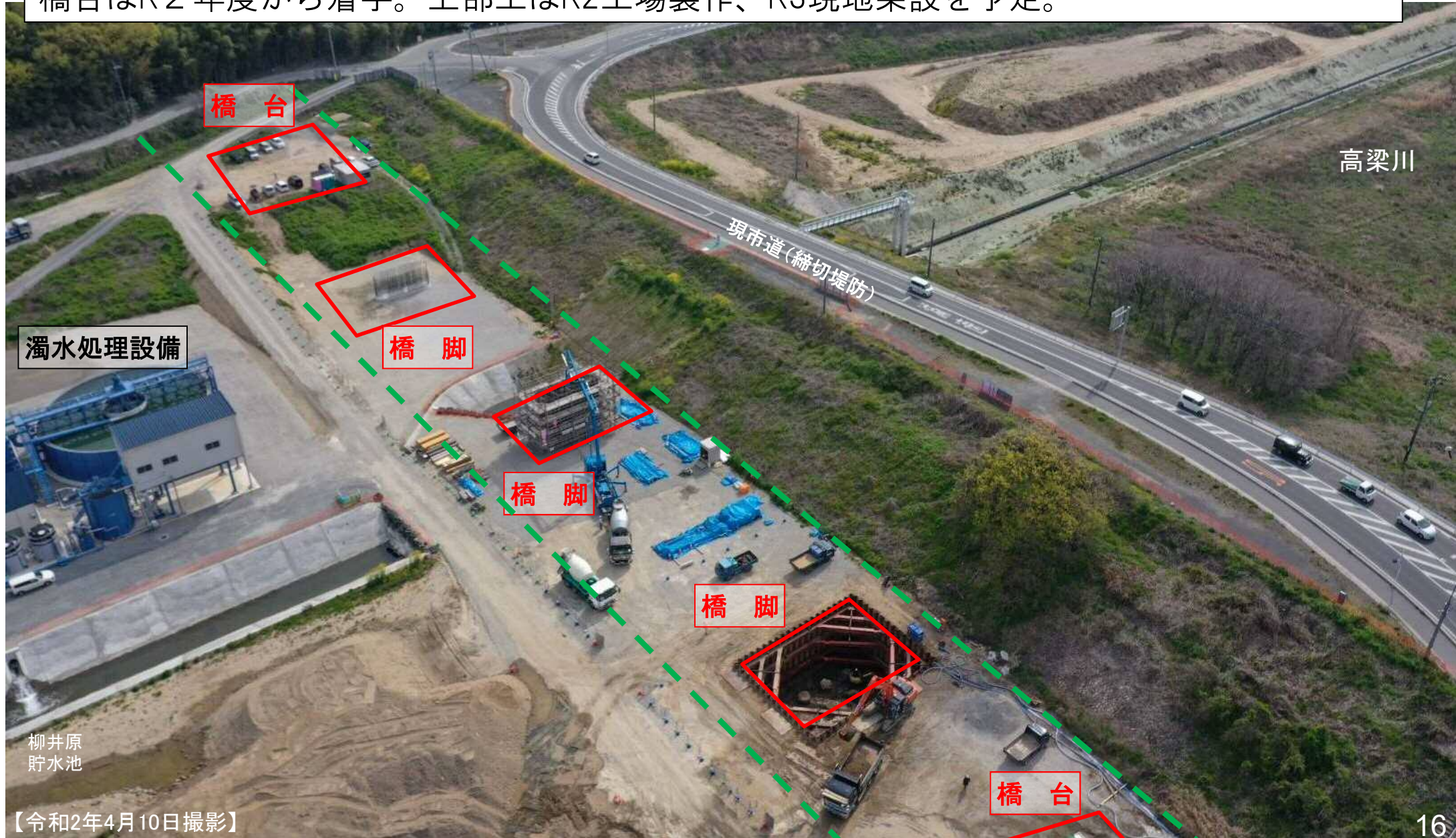
令和2年1月 橋脚の鉄筋組立



令和2年4月 橋脚コンクリート工事中

⑤橋梁工事(R1~2実施内容)

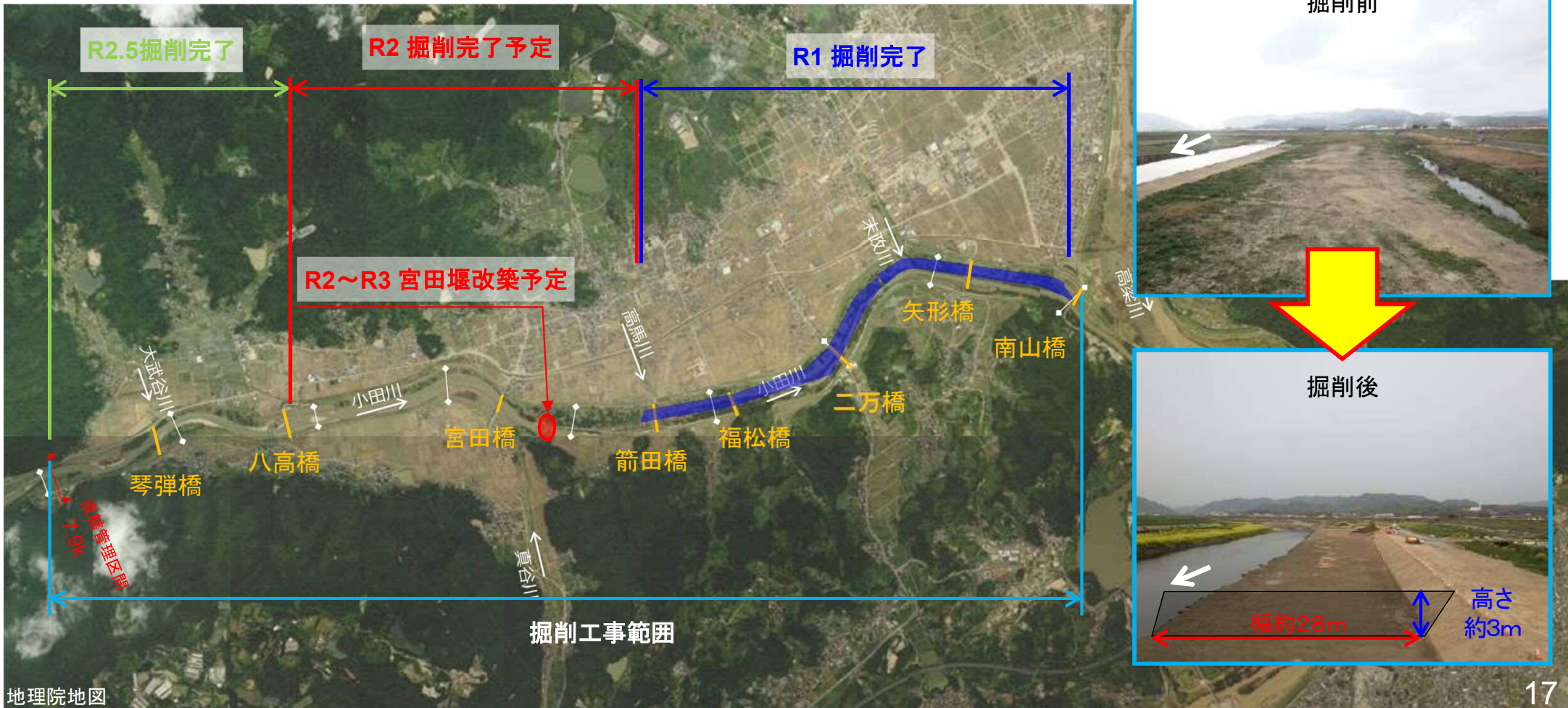
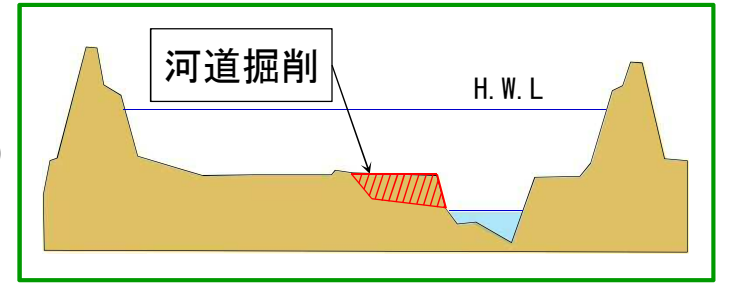
□ 部分に橋脚、橋台を建設。□ 部分に上部工を建設。
橋台はR2年度から着手。上部工はR2工場製作、R3現地架設を予定。



小田川の河道掘削

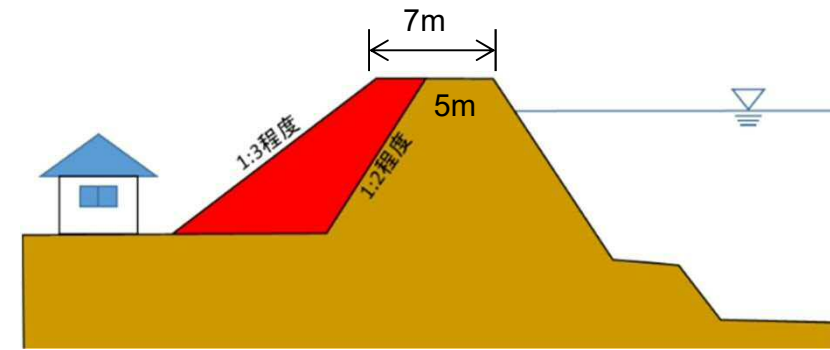
■小田川の河道断面を拡大するため、掘削を実施

- ⇒ 掘削期間 : 令和元年～令和3年
- ⇒ 全体掘削量(予定) : 196,000m³ (25mプール約545杯)
- ⇒ 令和2年4月20日現在 : 159,000m³ (約442杯 : 約81%)

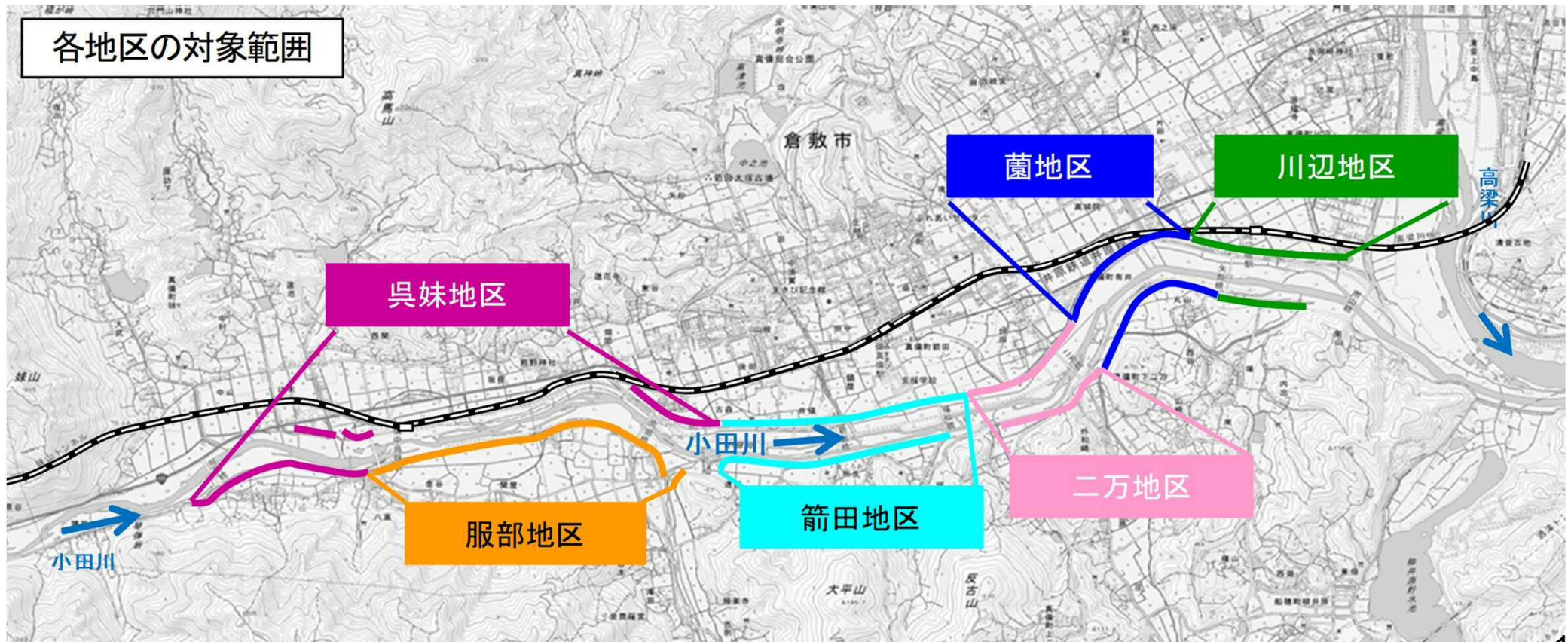


小田川の堤防強化

- 小田川等の河道掘削で発生する大量の土砂を有効活用し、国と倉敷市が連携・協力して堤防強化を実施
- 用地取得が完了した箇所から、令和2年度出水期明け（10月中旬）以降、順次工事着手予定
- 堤防強化に関する図面は、各分館または高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所で確認可能



堤防強化整備イメージ



【国・県・市】堤防強化、堤防嵩上げ 令和2年実施箇所

小田川【国】

- ①有井・川辺地区において、基盤漏水対策を実施中。令和3年3月までに完成予定
- ②服部地区において、堤防強化工事を実施中。令和3年3月までに完成予定
- ③下二万地区において、堤防強化工事に着手。令和2年6月中旬までに完成予定
- ④有井地区において、堤防強化工事に着手。令和2年10月中旬頃に着手予定

末政川・高馬川・真谷川【岡山県】

- ①末政川 有井地区において、用水路（サイフォン）と堤防強化・堤防嵩上げ工事を実施中
- ②高馬川 箭田地区において、堤防強化・堤防嵩上げ工事を実施中
- ③真谷川 服部地区において、堤防強化・堤防嵩上げ工事を実施中

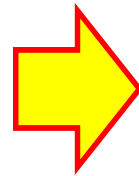
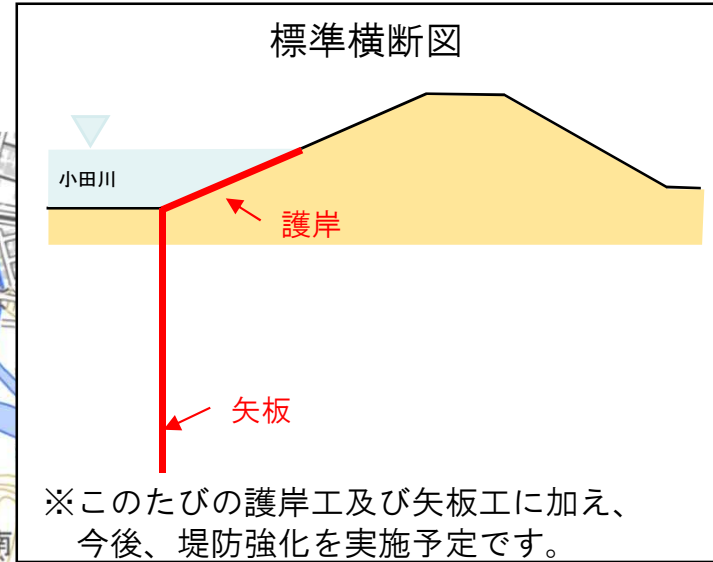
大武谷川・背谷川・内山谷川【倉敷市】

令和2年11月より堤防嵩上げを順次実施予定



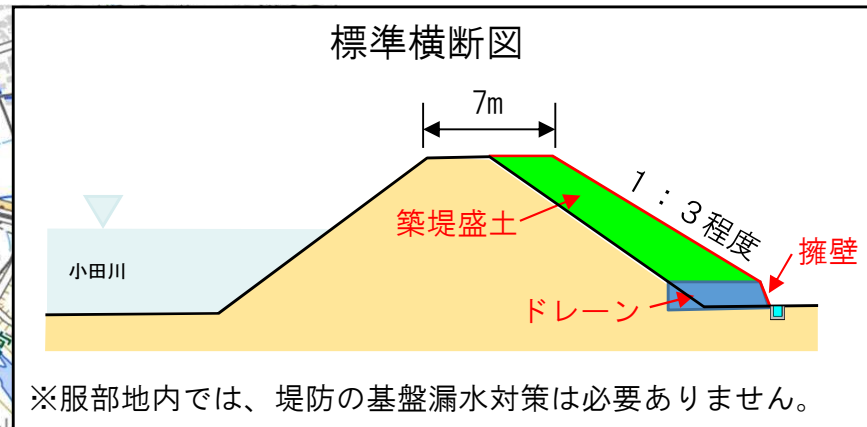
①有井・川辺地区(南側) 基盤漏水対策(R1~R2実施箇所)

- 基盤漏水対策が必要な区間が約1,000m、令和元年度に770m完了
- 令和2年度で残りの230mを実施し対策完了



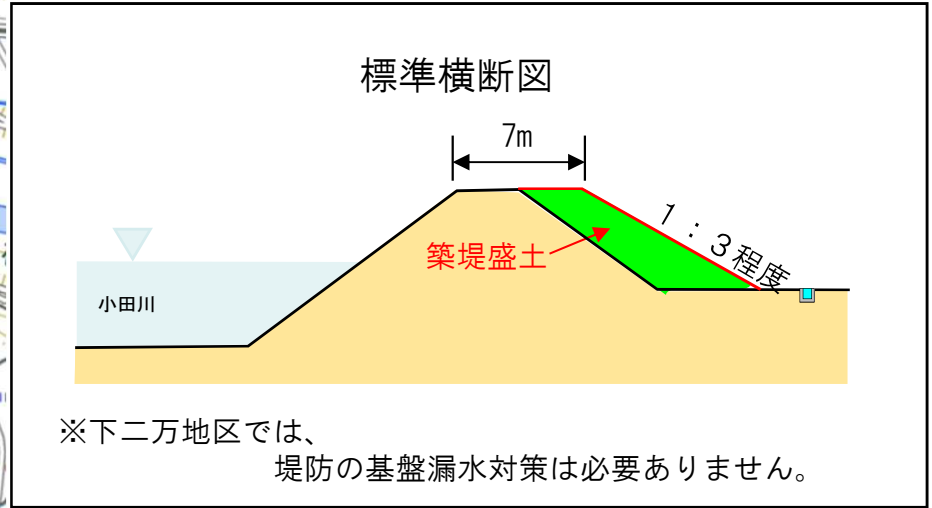
②服部地区(八高橋～新田樋門) 堤防強化(R1～R2実施箇所)

- 堤防強化が必要な区間が約1,000m、令和元年度に工事着手
- 令和2年度も引き続き工事を実施し対策完了



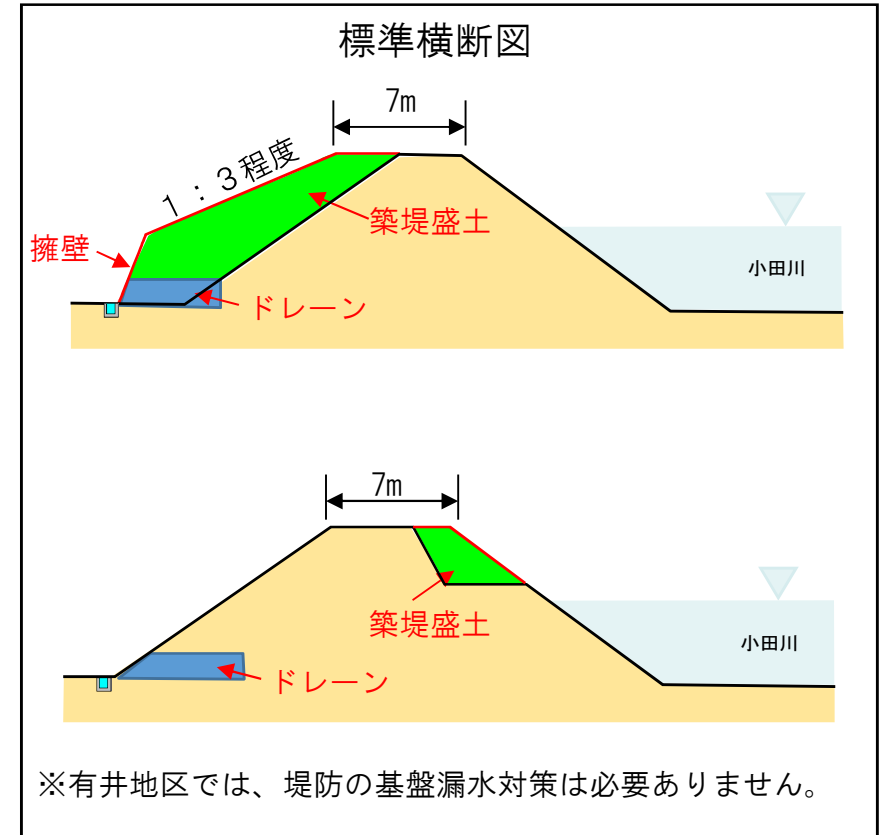
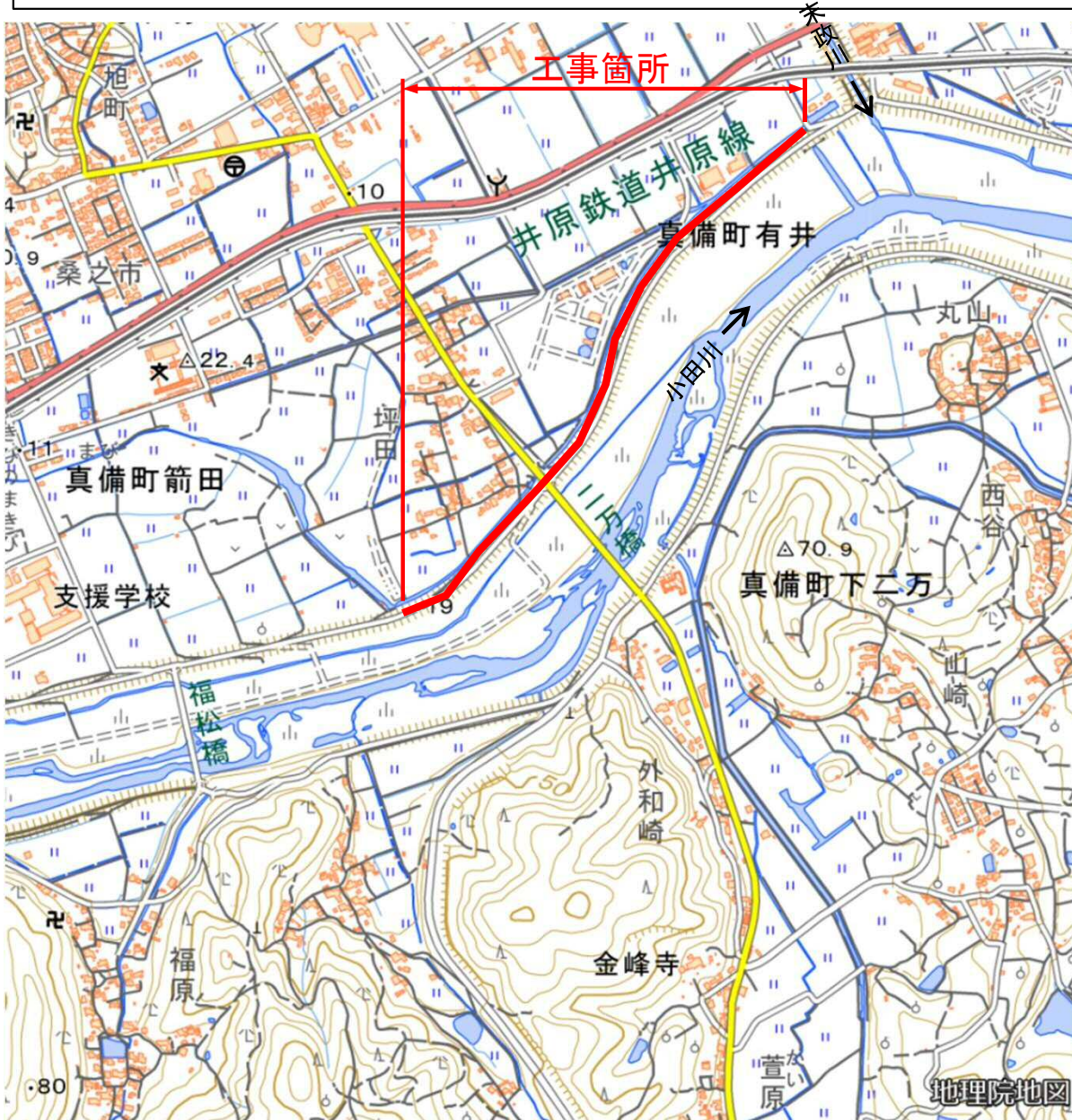
③下二万地区(南側) 堤防強化(R2実施箇所)

- 堤防強化が必要な区間は約300m
- 令和2年6月中旬までに工事完了予定

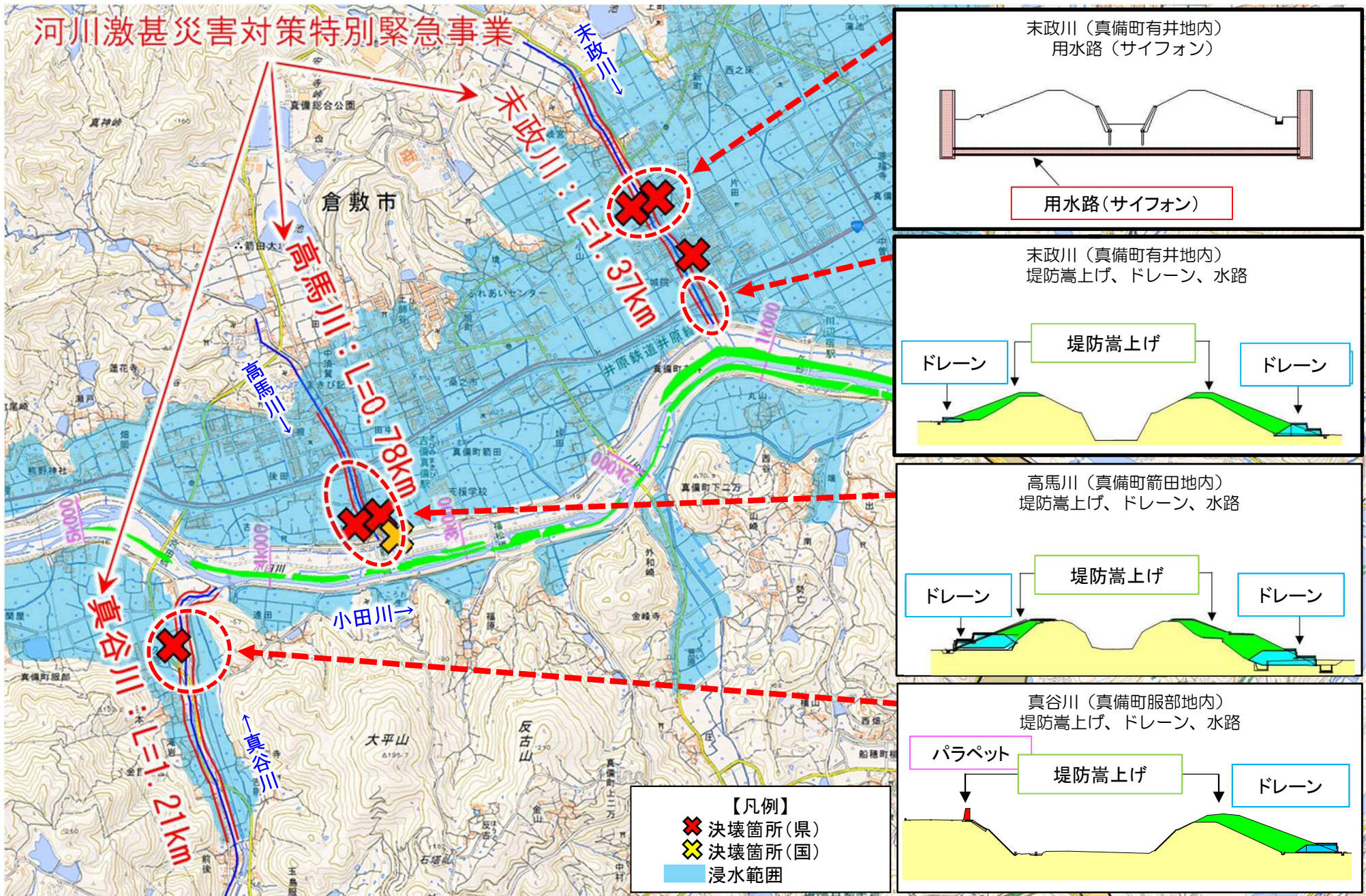


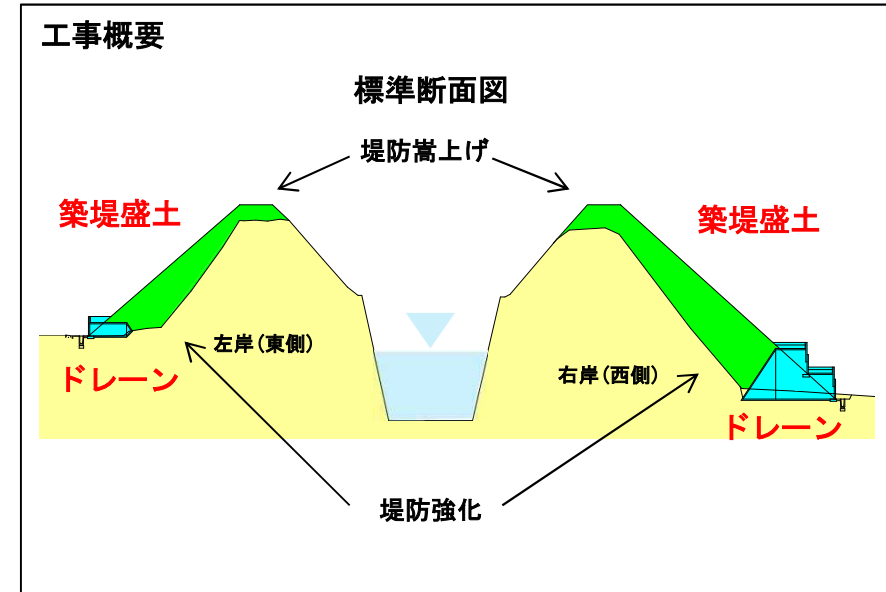
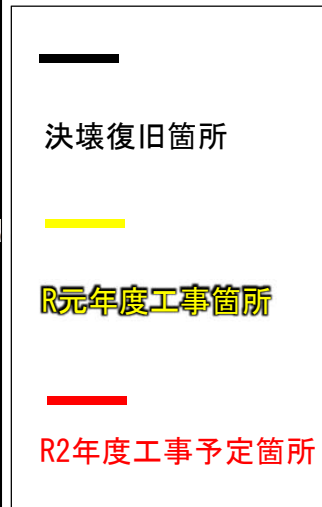
④有井地区(北側) 堤防強化(R2実施箇所)

- 堤防強化が必要な区間は約1,000m
- 令和2年10月中旬頃に工事着手予定



末政川・高馬川・真谷川の堤防強化・堤防嵩上げ





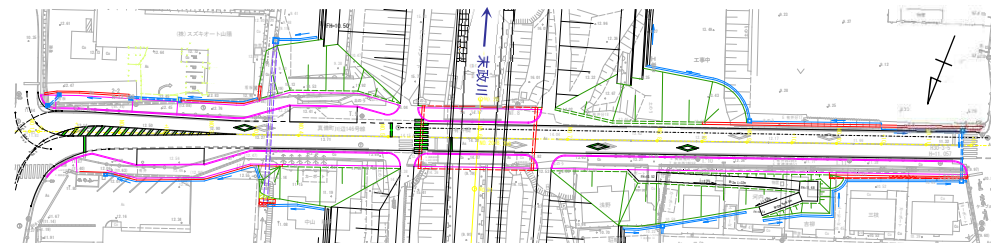
※R2年度施工箇所については用地取得状況等により、施工箇所及び延長が変更となる可能性があります

経緯及び状況

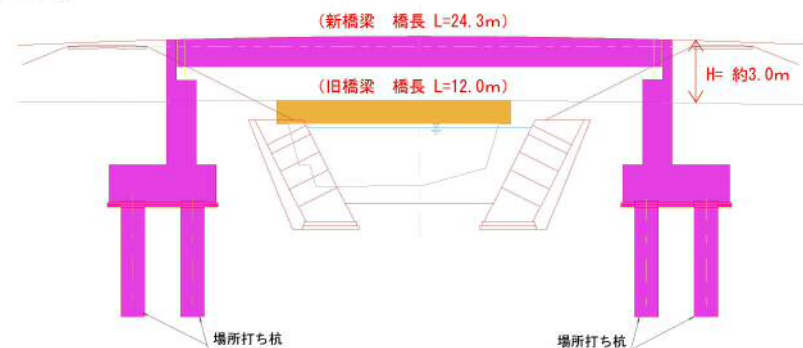
有井橋の橋面は、上下流の堤防高と比べて低かったため、橋面を超えて溢水（水があふれ出る）し、堤防決壊に至りました。

このため末政川の堤防高さを小田川の堤防高さまで嵩上げを行い、有井橋も堤防と同じ高さで架け替える（約3m嵩上げ）こととしました。

平面図



側面図

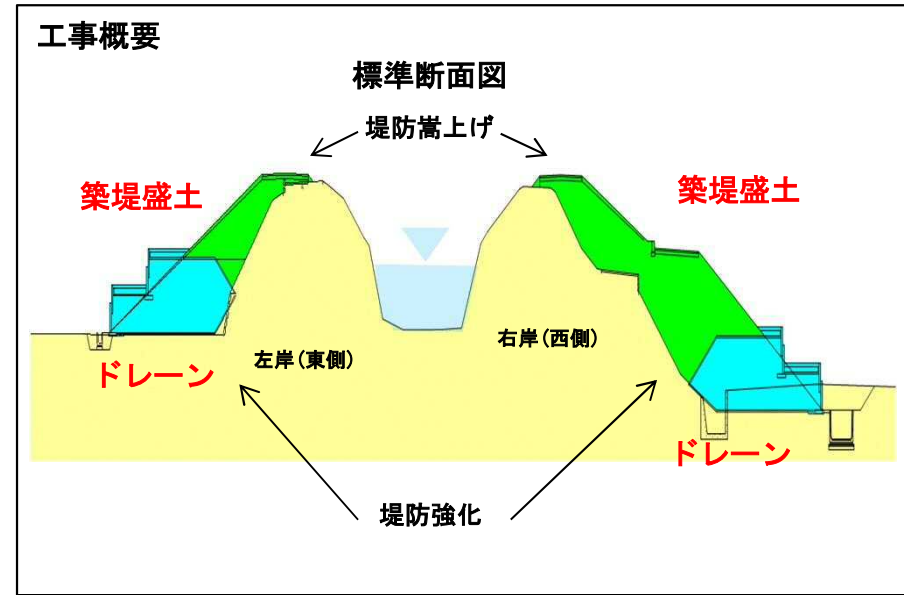
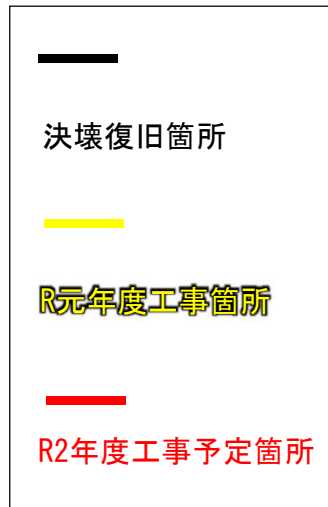


有井橋の工事について

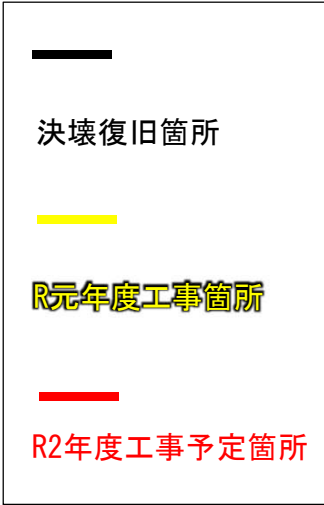
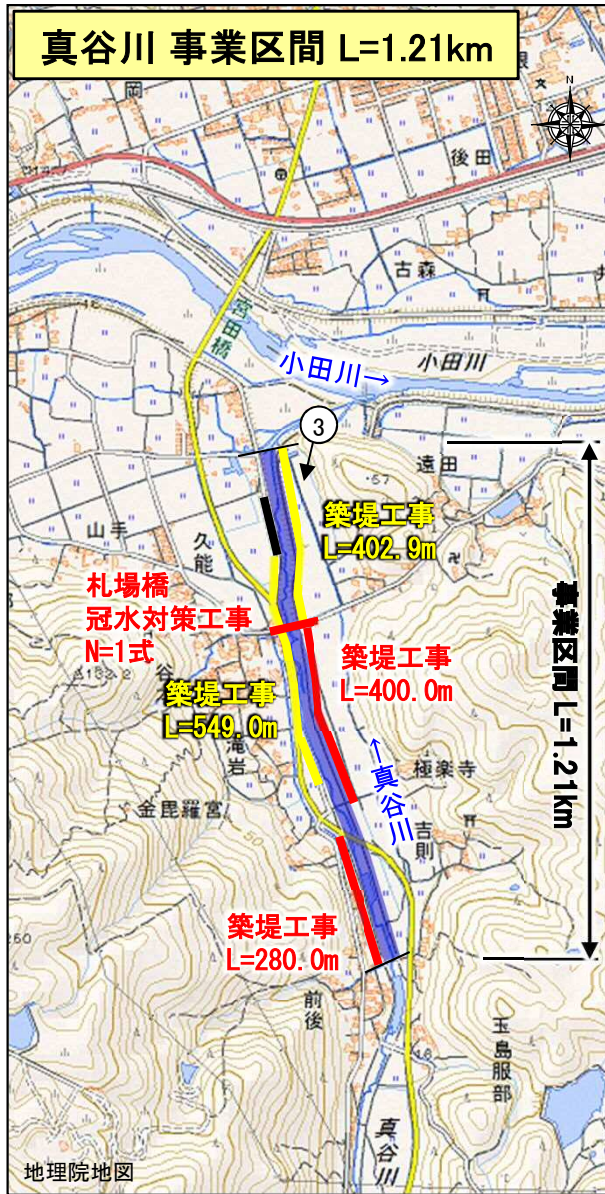
- ・有井橋工事については、占用物件移設後、令和3年4月から全面通行止めとし、橋の架け替え工事に着手します。
- ・有井橋の全面通行止め期間は、令和3年度～令和4年度の概ね2か年を想定していますが、施工状況により、延長する可能性があります。
- ・全面通行止めにより、交通渋滞や交通混乱等大きな影響が懸念されるため、令和2年度中に全面通行止めに対する安全対策、広報・周知を行う予定としています。

工程表 (案)

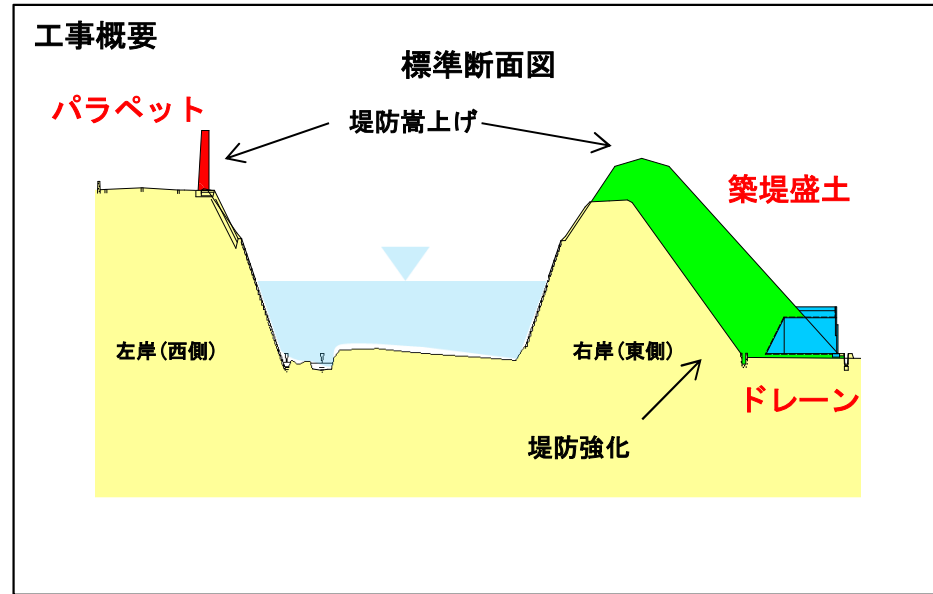
工事内容	令和2年度			令和3年度			令和4年度			
	4月～7月	8月～11月	12月～3月	4月～7月	8月～11月	12月～3月	4月～7月	8月～11月	12月～3月	
占用物件移設	■									
旧橋撤去				■						
下部工 上部工 取付道					■					
全面通行止 期間				■						



※R2年度施工箇所については用地取得状況等により、
施工箇所及び延長が変更となる可能性があります



※R2年度施工箇所については用地取得状況等により、施工箇所及び延長が変更となる可能性があります

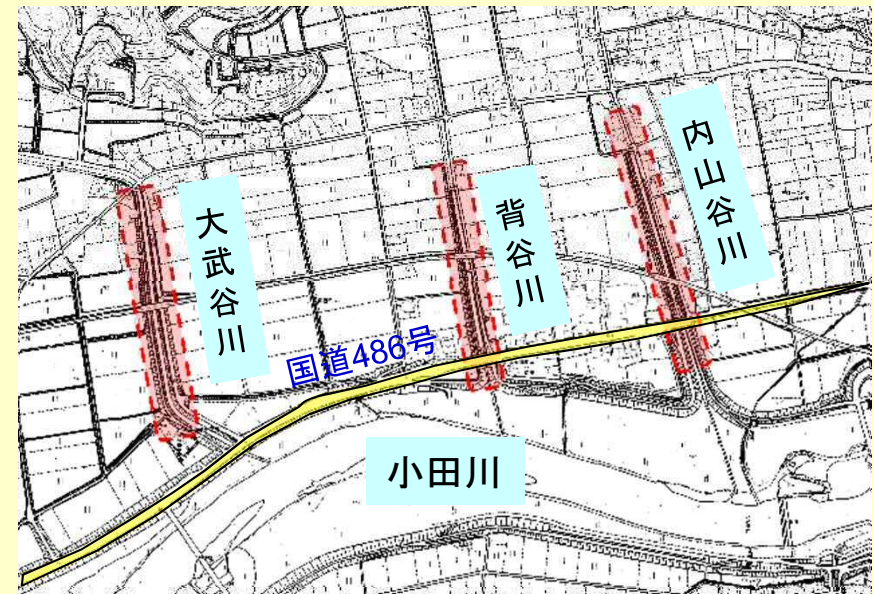


<河川堤防の安全性の向上>

- 河川堤防の嵩上げ工事を今年度より着手する

<現在の状況>

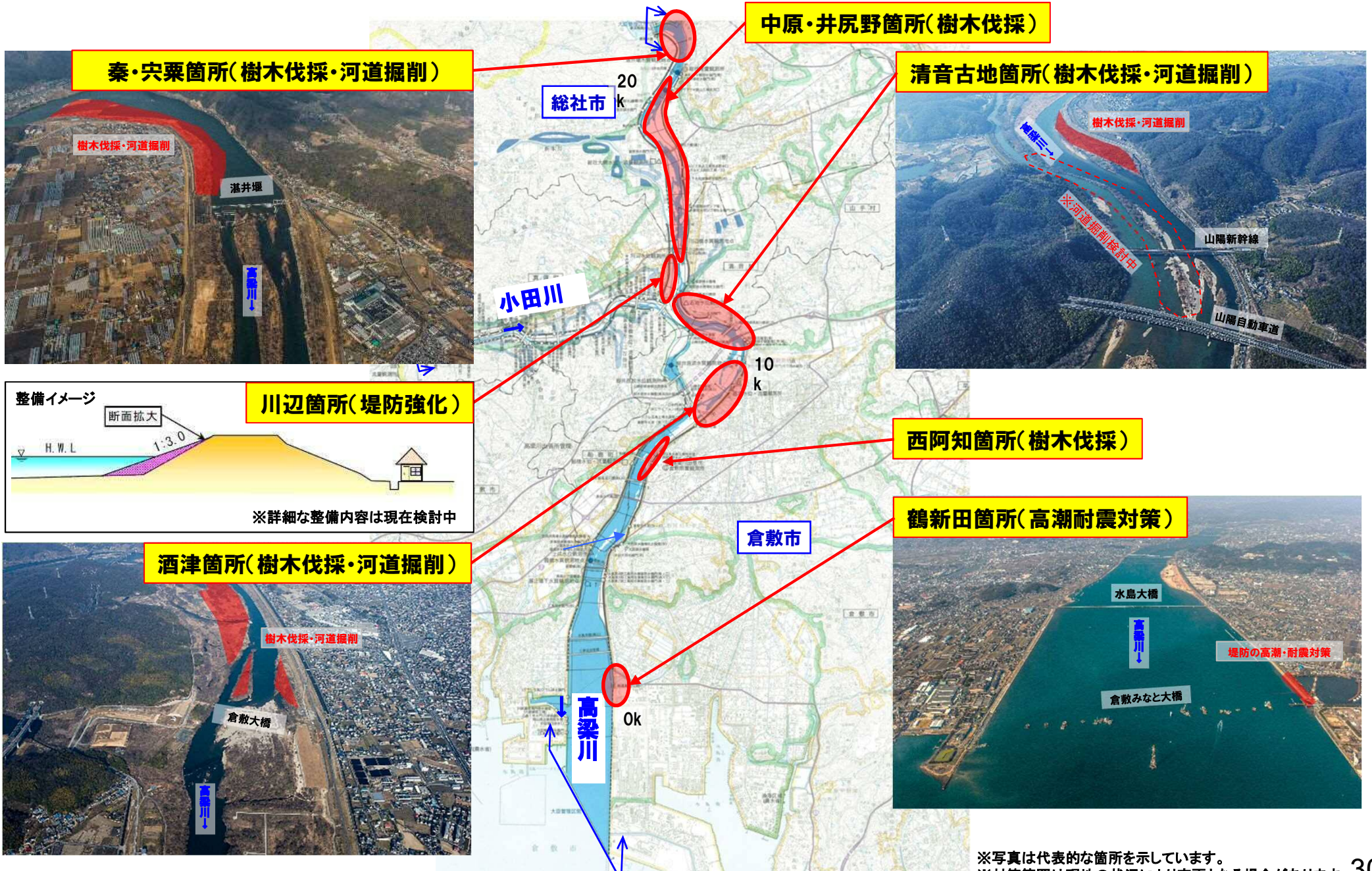
- 地質調査及び測量
 - ・ 令和元年度に完了
- 設計
 - ・ 現在、詳細設計の作業中
 - ・ 工事着手前に地元説明を行う予定
- 堤防嵩上げ範囲
 - 大武谷川：国道から上流 約410mまで
 - 背谷川：国道から上流 約260mまで
 - 内山谷川：国道から上流 約300mまで



<今後のスケジュール>

- 工事
 - 令和2年11月頃より、各河川とも施工可能な箇所から堤防嵩上げ工事に着手

【関連工事】高梁川 3か年緊急対策実施状況



※写真は代表的な箇所を示しています。
※対策範囲は現地の状況により変更となる場合があります。 30

【関連工事】高梁川(川辺付近)の工事实施

小田川合流点付近の工事状況



※工事实施範囲等は現地状況等により変更となる場合があります。

【関連工事】高梁川(川辺付近)の工事实施予定

新本川合流点より下流の工事状況



※工事实施範囲等は現地状況等により変更となる場合があります。

川辺橋 上流付近 着手前 現在



川辺橋 下流付近 着手前 現在



真備緊急治水対策プロジェクト

ソフト対策

- **地域における防災力の強化を図るため、「倉敷市災害に強い地域をつくる検討会」を設置し、災害時の住民避難について、住民への情報提供や周知の在り方、住民による自主的な避難を促進するための検討を行います**

≪検討内容≫

【住民への情報提供や周知の在り方】

- **住民による防災情報の入手や確実な伝達**

【住民による自主的な避難を促進するための検討】

- **地区防災計画の策定支援**

- ・ 住民が自主的に取り組む防災体制への支援
- ・ 防災活動を契機とする地域づくり

- **防災教育の推進**

- ・ 小学生などを対象とした防災教育の環境づくり
- ・ 「自らの命は自らが守る」意識の徹底と災害リスクや災害時に取るべき避難行動の理解促進

- **避難行動要支援者の避難対策の推進**

- ・ 要支援者の在り方、防災と福祉が連携した避難行動に対する理解促進

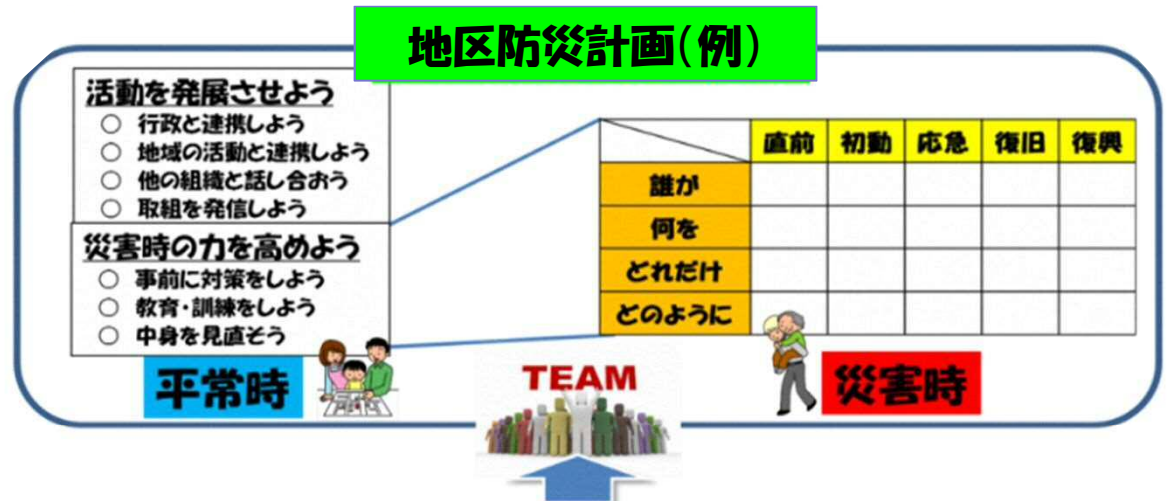
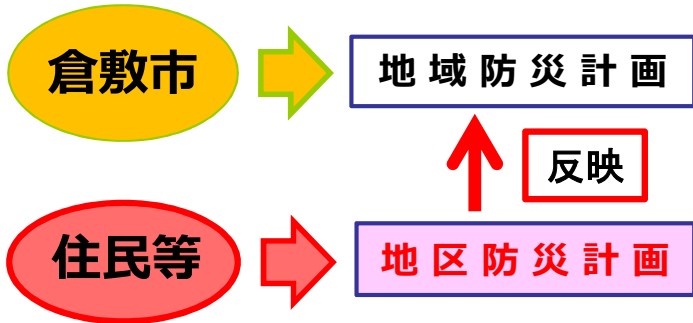


【検討会開催の様子】

※令和元年度末までに行動計画の取りまとめを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中断しています。夏以降に再開予定です。

- **地区防災計画**は、地域における防災力を高めるため、各地区の地域的特徴を踏まえて、地区住民が主体となって策定する計画で、市はこれを支援する
- 平常時、発災前後（避難行動、避難所開設）、避難所生活等について、地区が必要な事項（組織づくり、防災マップ、避難場所・ルート確認、備蓄、防災教育、訓練、避難所運営など）を地区の住民で話し合いを促進する

地区防災計画の作成



【地区防災計画策定に向けたワークショップの様子】



※新型コロナウイルス感染症により、地域での集会などが開催できないため中断しています。夏以降に再開予定です。

- 新型コロナウイルス感染症の感染のリスクがある中での、**災害時の避難のあり方や避難所の運営方法など**を検討しています

【避難所の現状】

避難所は、短時間に不特定で多数の人が集まり、「3密」が避けられない状況



感染症対策が困難な環境

【検討内容】

- 指定避難所以外の場所へ避難できる仕組みを検討する
- 避難所において、体調の悪い方を見つける仕組みを検討する
- 避難所での密集を避ける仕組みを検討する
- 衛生(感染予防)を徹底する仕組みを検討する



市では、マスク・消毒液、体温計など衛生備品の確保の準備をしています



【岡田小学校避難所(平成30年7月豪雨災害)】

【市民の皆さまへのお願い】

避難所の過密状態を防ぐため、**親戚や友人の家などへの避難を、平時から話し合っておきましょう**

○国道486号（真備町尾崎地内・妹地内）は、内山谷川と背谷川の堤防を開削している箇所であり、内山谷川及び背谷川が大雨により河川水位が上昇した場合に、陸閘により浸水を防ぐ必要があるため、操作規則に基づき陸閘を設置します。

※現在、陸閘の解消に向けて、現地の地質や地形の調査、河川管理者と協議を実施中

[背谷川陸閘設置イメージ図]



[内山谷川陸閘設置イメージ図]



真備地区における大雨時の対応

抜本的な治水対策である真備緊急治水対策（ハード対策）が完成する令和5年度までの間、河川管理者である国土交通省高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所（以下「国」という）及び岡山県備中県民局（以下「県」という）と倉敷市真備支所は情報共有体制を強化し、下記のとおり対応を実施します。

1. 真備支所への情報共有体制強化

これまで、国及び県から倉敷市災害対策本部（水防本部）へ一元的に共有される災害情報は、災害対策本部から真備支所（地区本部）にも情報共有されていましたが、より迅速な対応が図れるよう、今後は、国及び県がそれぞれ管理する河川のパトロール結果等について、倉敷市災害対策本部に加えて、真備支所にも直接情報を共有します。

さらに、レベル3相当に水位が到達することが見込まれるような場合、国は職員を真備支所に派遣し、一体となって洪水対応を実施します。

2. 真備地区における大雨時の対応について

国、県、市は高梁川水害タイムラインに基づき対応を実施します。

3. 陸閘の閉鎖について

末政川（担当：倉敷市）、内山谷川、背谷川（担当：岡山県）の陸閘を閉鎖します。

真備地区における大雨時の対応(国・県・市の主な動き)

レベル	避難情報	小田川、高梁川の水位 (下記の水位は全て国の水位観測所値)	国交省高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所、岡山県備中県民局、倉敷市真備支所の主な動き	
			体制等	主な内容
レベル0			・情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・土のう配布 ・水路・ため池の事前排水 ・小田川事前排水(宮田堰、八高堰の開放) ・排水樋門順次閉門 ・内水排水ポンプ順次稼働
レベル1		水防団待機水位 (矢掛2.50m、酒津7.40m)	・体制整備	
レベル2		氾濫注意水位 (矢掛2.80m、酒津8.70m)		
レベル3	避難準備・高齢者等避難開始	避難判断水位 (矢掛3.40m、酒津11.60m)	・真備支所に職員派遣(国)	<ul style="list-style-type: none"> ・陸こう閉鎖順次開始(末政川、内山谷川、背谷川) ・広報車での周知 ・エリアメール等で周知(高齢者等避難) ・避難所開設 ・堤防が低い猿掛・井ノ口地区への大型土のう設置
レベル4	避難勧告 避難指示(緊急)	氾濫危険水位 (矢掛3.90m、酒津12.00m)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員退避(国)(安全な場所で復旧対策の検討・調整) ※一部の職員は真備支所に残って対応を続ける予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・エリアメール等で周知(全員避難) ・広報車での周知 ・排水機場、樋門管理操作員順次退避
レベル5	命を守る最善の行動	越水・破堤 (可能性含む)		<ul style="list-style-type: none"> ・エリアメール等で周知(命を守る行動)



※時系列はあくまで目安であり、気象の状況等により柔軟に対応します。
 ※矢掛の水位は矢掛水位観測所(国)の水位です。

簡易型カメラの設置

- リアリティーのある気象の状況や河川の状況を住民一人一人に伝達するため、河川監視カメラを活用し、通常の文字情報に加え、画像・映像によるリアリティーのある災害情報の積極的な配信を行う
- 真備地区において既存の河川カメラ3基に加え、簡易型カメラを国が6基、県が3基を増設。国は映像配信中。県は6月から配信予定



【確認方法等】

専用サイト「[川の水位情報](https://k.river.go.jp/)」からインターネットを通じて、どなたでも閲覧いただけます。

URL <https://k.river.go.jp/>



※河川カメラは、夜間も映像を観ることはできますが、簡易型カメラは、夜間は映像を観ることはできません。

橋脚への水位表示板の設置

□新川辺橋への水位表示板設置は令和2年6月中旬（出水期）までに実施予定



※設置したイメージを表現しており実際の状況とは異なる場合があります。

警戒
レベル

5

氾濫の発生

(危険)
4

氾濫危険水位

【氾濫危険水位】

- ・市町村長の避難勧告等の発令判断の目安
- ・住民の避難判断の参考になる水位

(警戒)
3

避難判断水位

【避難判断水位】

- ・市町村長の避難準備・高齢者等避難開始の発令判断の目安
- ・住民の氾濫に関する情報への注意喚起

2
(注意)

氾濫注意水位

【氾濫注意水位】

- ・水防団の出動の目安

1

- 円滑な避難のためには住民一人ひとりがそれぞれに合った適確な避難行動をとることが重要との認識の下、自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し、「自分の逃げ方」を手に入れるツールがマイタイムライン
- 堤防決壊のあった鬼怒川の流れる茨城県常総市を中心に展開しているマイタイムラインを真備版として作成
- 令和2年度からは、倉敷市全63小学校の授業で活用が決定
- 出前講座も実施していますので、高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所にお問い合わせください



平成30年7月豪雨で実際に避難をされた倉敷市真備地区の方々に協力頂き、倉敷市、岡山県備中県民局等監修のもと、国土交通省関東地方整備局下館河川事務所が作成した「小中学生向けマイ・タイムライン検討ツール〜逃げキッド〜」をもとに、「平成30年7月豪雨を踏まえたマイ・タイムライン検討ツール〜逃げキッド〜」を作成しました。

主な特徴はマイ・タイムラインをつくるためのヒント集を
・実際に被災した真備地区の方々の経験談をもとに作成
・避難する際に困ったことを踏まえ、事前に確認しておくべきことを記載
・避難の時に持って行って役に立ったものを記載
です。

■一括ダウンロード版 (PDF:11.94MB)

1. チェックシート (PDF:194KB)
2. 資料1「台風や前線が発生」してから「川の水が氾濫」するまで (PDF:1.25MB)
3. 資料2「川の水が氾濫」するまでの主な備え (PDF:1.36MB)
4. 資料3マイタイムライン作成シート (PDF:2.56MB)
5. マイタイムライン作成ヒント集 (PDF:6.18MB)
6. 作成シール (PDF:379KB)



～逃げキッドの中身～

1. マイ・タイムライン作成のためのチェックシート
2. 「台風や前線が発生」してから「川の水が氾濫」するまで
3. 「川の水が氾濫」するまでの主な備え
4. マイタイムライン作成シート
5. マイタイムライン作成ヒント集
6. 作成シール



小学校や学童でマイ・タイムラインを説明

LINEを活用した被害状況の共有(6/2に練習します！)

■ H30.7豪雨災害において①避難時の道路冠水状況②被害の全容把握が困難だった

■ 行政だけでは大雨時の被災状況をリアルタイムに把握することは困難

⇒ 大雨時の地域の状況をLINEを活用し、地域全体(市民間)で情報共有できないか？

⇒ 今年度、システムを試験的に運用するため、**6月2日(火)12:30~13:30**に**一緒に練習**しましょう！

※ 本システムR2年出水期間中は利用できる予定です

LINEで被害状況を投稿したイメージ



※今回運用は神戸市で試験された情報共有アプリをそのまま利用して行います。

LINEの使い方

今年度の情報共有にご理解・ご協力いただける方は、このLINEの使い方により登録してください。
また、6月2日(火)の市民参加による練習にも是非ともご参加ねがいます！

①まずは、登録を！ (SIP防災訓練と友だちになる)

LINEの検索画面で、「SIP防災訓練」を入力し、
「SIP防災訓練」を友だち追加



②訓練参加

メニューの「訓練参加」を押した後、
「高梁川小田川防災訓練」が出てくるので、
参加を押す

※ユーザー登録は不要



LINEの使い方

③災害情報を入力

メニューの『災害情報登録』を押す。

指示に従い、左下のキーボードボタンを押して、詳しい情報を入力

例) 浸水など



④災害情報の入力・登録

指示に従い、位置情報、写真を投稿
最後に「登録」を押して完了

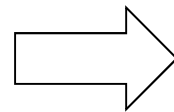


LINEの使い方

⑤地図確認

メニューをタップし、『報告を地図でみる』を選択し、見たい「日時を設定」すると、登録されている場所が見られます。※免責事項を承諾してログインして下さい。

地図上で、マーカーをタップして、報告内容が確認できます。



LINEの使い方

⑥個人情報

投稿者の個人情報は表示されません。

※投稿者はLINE Userとなり、
個人情報はでません
(ユーザー登録しても同じです。)



登録した
・文字情報
・位置
・写真

真備緊急治水対策プロジェクト

工事に関するお知らせ

ダンプトラック等のステッカー掲示について

国・岡山県関係工事車両には、歩行者や一般車両等への交通安全対策や過積載防止等のため、発注機関や工事箇所等が特定できるように国と岡山県で定めるステッカーを車両に下図のとおり設置しています

国工事車両

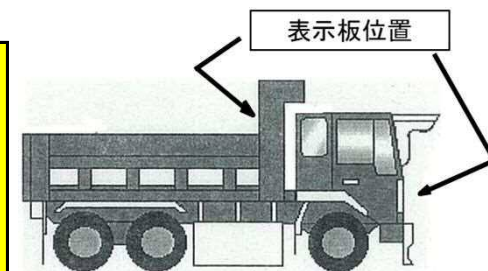
◆小田川合流点付替え関連工事

<ステッカー掲示例>



岡山県工事車両

<ステッカー掲示例>



◆小田川堤防強化関連工事

<ステッカー掲示例>



ベースカラー	河川名
黄色	末政川
水色	高馬川
緑色	真谷川

真備緊急治水対策プロジェクト

その他

□国・岡山県・倉敷市からの発信



□国からの発信

国土交通省
高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所
ウェブサイト
<http://www.cgr.mlit.go.jp/takaoda>



□岡山県からの発信

岡山県河川課
ウェブサイト
<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/64/>

おかやまの土木・建築
(岡山県土木部facebook)



□倉敷市からの発信

まび復興だより
<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/33087.htm>



真備緊急治水対策プロジェクト

□国土交通省に関すること

(小田川合流点付替え、小田川堤防整備、小田川河道掘削)

国土交通省 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所

電話 086-697-1020

メールアドレス：info-takaoda@cgr.mlit.go.jp

□岡山県に関すること

(末政川、高馬川、真谷川堤防整備)

岡山県 備中県民局 建設部 河川激甚災害対策班

電話 086-434-7157

□倉敷市に関すること

倉敷市 建設局 災害復興推進室 (ハード対策)

電話 086-426-3460

メールアドレス：reprm@city.kurashiki.okayama.jp

倉敷市 総務局 防災危機管理室 (ソフト対策)

電話 086-426-3131

メールアドレス：dapvt@city.kurashiki.okayama.jp